

## 尾池学長特別講演を拝聴して

歴史遺産コース 萩川 圭介

「瓜生歴史遺産の会」第2回総会に先立ち、尾池学長の特別講演会がありました。演題は「日本列島の自然 — 季語の生まれた国」。地球の成り立ちから日本列島の形成とその特徴、そこからどのように日本文化が花開き、ひいては季語が生まれるに至ったかというお話でした。人が創造する文化や物の考え方は自然環境に左右されます。それでは日本が置かれた自然環境はどんな特徴があるのでしょうか。

まず地震が多く、火山活動も活発だということが挙げられます。次に、海に囲まれており干潟も多く、世界一豊かな海を持っているというのも特徴です。特に日本海は他には見られない独特な海です。南から暖流が流れ込み、冬になると大陸から季節風が吹くため大雪が降ります。これほど緯度の低い地域で豪雪地帯があるのは日本だけだそうです。

### 日本列島の特徴（順不同）

- 四季の変化
- 太陰太陽暦
- 中緯度
- 縁辺海
- 世界で最も若い海
- 世界で最も古い海
- 暖流と寒流
- 豪雪と梅雨と台風
- 噴火と地震と津波
- 変動帯の文化
- 城壁のない都
- ジオ多様性
- 生物多様性
- 最新氷期を超えた生物
- 世界最古の文明
- 長編小説の歴史
- 季語と俳句
- 縦書きの文化

『日本列島の特徴』より

また温帯に位置しているため生物の多様性があり、雨も多く、台風も来ます。つまり日本は「生きている地球」を一番実感できる環境に位置しているのです。こうした、時に厳しくも変化に富んだ豊かな自然環境が日本文化の形成に大きな役割を果たしました。この恵まれた自然を背景に、いかに多くの国字が作られたことか。「峠」の風景や「凧（こがらし）」「凧（なぎ）」などは日本独特なものでしょうか。「鯛（いわし）」「鯰（なまず）」など魚編は国字が多いようです。

日本には四季がありますが、これにより「季語」というものが生まれ、日本人特有

